



要点抜粋版

# Kawasaki City SDGs Guidance

～ 川崎市市内SDGs取組の進め方 ～

Ver2.0

2024年3月 川崎市

Topics



こちらは『川崎市市内SDGs取組の進め方』Version2.0の要点抜粋版です

本『進め方』の取組が高く評価され、日本最大級の政策コンテストである『第18回マニフェスト大賞（応募数3,088件）』の『優秀賞（40件）』及び『プレゼンテーション特別賞（1件）』を受賞！



※かわさきSDGs大賞2023各受賞者の取組



～ 本『進め方』の目的・位置づけ等 ～

## 序章・基本的事項

### (1) 本「進め方」の目的

- 「Kawasaki City SDGs Guidance ～ 川崎市庁内SDGs取組の進め方 ～ (以下「進め方」)」は、市職員のSDGsの向き合い方や業務への組み込み方などの「考え方」や「具体例」を示したものであり、**職員の業務遂行の手引書**となるものです。

### (2) 「川崎市SDGs推進方針」と「川崎市総合計画」の統合

- 本市は、平成31(2019)年2月に「川崎市SDGs推進方針」を策定し、**「川崎市総合計画第3期実施計画(以下「総合計画」)(R4.3策定)」と統合**しました。
- 川崎市のSDGs取組(以下「かわさきSDGs」)は、**総合計画のすべての事務事業をSDGsのゴールと関連づけるとともに、総合計画と一体的に進行管理**を行っています。

### (3) SDGsの取組期間

- 2016年から2030年までの15年間



# I はじめに

## Version2.0のアップデート

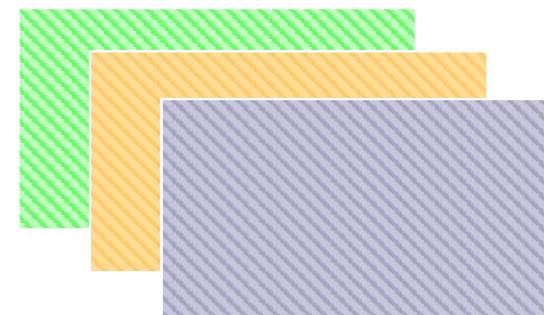
- 「Kawasaki City SDGs Guidance ～ 川崎市庁内SDGs取組の進め方 ～（以下「進め方」）」は、令和5（2023）年8月に運用を開始しましたが、SDGs※を取り巻く状況は日々進化・加速しています。
- このため、職員がSDGsに関する最新動向を把握し行政施策に生かしていけるよう、**本『進め方』は、年1回程度を目安にアップデートを行います。**
- 今回の**Version2へのアップデート**では、庁内取組事例等を**最新事例へと更新**するとともに、市内中小企業や本市職員のSDGsに関する**アンケート調査結果などの最新情報を盛り込みました。**



Version1.0  
2023.8策定



Version2.0  
2024.3改訂



年1回程度を目安に  
アップデート

※ Sustainable Development Goals：持続可能な開発目標  
17のゴール、169のターゲット、231の指標（重複を除く）から構成され、平成27（2015）年9月の国連サミットで全会一致で採択された、世界共通の目標のこと。**取組期間は2016～2030年の15年間。**



## 2 位置づけ

### 本『進め方』の位置づけ

- 本市は総合計画のすべての事務事業をSDGsのゴールと関連づけました。私たち職員は日々の所管事務事業に取り組むに当たり、SDGsの本質を理解したうえで進める必要があります。
- このため、本『進め方』は「職員がSDGsの本質を理解・意識すること」及び「職員がSDGsをツールとして使いこなすこと」を促進するための、考え方や具体的な事例等を示した「手引書（目安・ツール）」の位置づけとなります。
- 次章（第1章）では、SDGsの本質と使い方について説明します。

「川崎市総合計画（第3期）」は、かわさきSDGsの達成に直結する「行政計画」



「川崎市市内SDGs取組の進め方」は、職員がSDGsの本質を理解し、SDGsをツールとして使いこなすための「手引書」



# 第1章 SDGsの『本質と使い方』

Check!

重 要

全ての業務がSDGsなら  
普通に仕事をこなせば  
よいだけでは？



SDGsの本質を理解し  
活用することで、  
業務量を増やさずに  
業務の質をレベル  
アップできます

SDGsは  
変革がテーマです。  
それではSDGsは単なる  
「ロゴマーク」に  
すぎません。



# I 「SDGs」の本質と使い方①「コンパス」

## (1) SDGsは「コンパス」である

- SDGsは「**誰一人取り残さない**」をキーワードに、持続可能な社会を目指すために**必要な要素がすべて詰まっています**。
- このため、私たちが事業を進めるうえで考慮すべきことが、「**17ゴール**」と「**169ターゲット**」という形で**明確に示されています**。
- SDGsの17ゴールと169ターゲットを踏まえながら、**既存事業の見直しや新規事業を検討**することで、当該事業のSDGs位置づけや、他のゴール・ターゲットへの繋がりなどが確認でき、**事業の改善・連携が進めやすくなります**※。

SDGsは職員が考慮すべきことを明示してくれる  
**コンパス**として機能し、**事業の改善・連携**などに役立ちます



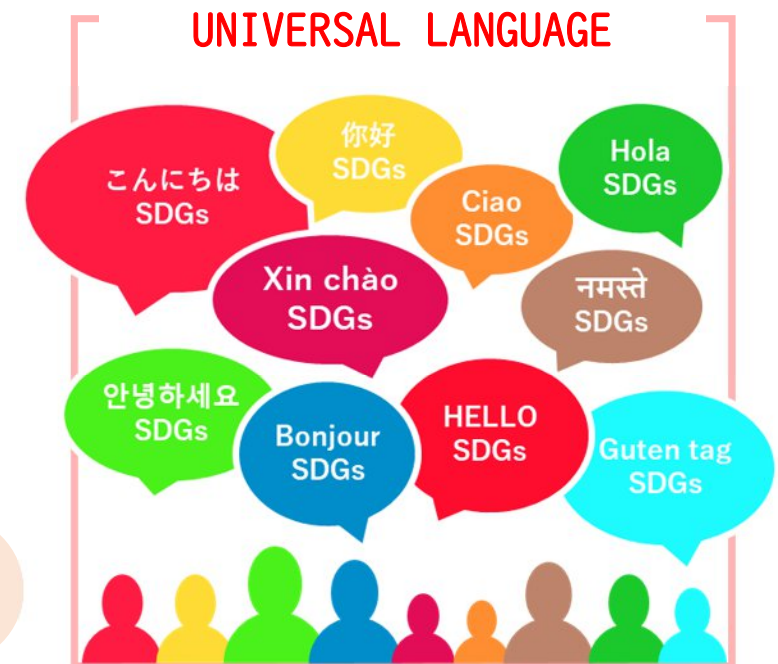
出展：SDGs Compass (SDGsの企業行動指針 - GRI・UNGC・WBCSD)

# I 「SDGs」の本質と使い方②「共通言語」

## (2) SDGsは「共通言語」である

- SDGsは先進国・途上国を問わず**世界中の国々**で取り組まれており、政府、地方自治体、企業、NPO団体、市民など**あらゆる主体が取り組んでいます**。
- 例えば、本市が脱炭素化（ゴール13関連）の取組を発信した場合、それがSDGs解決の取組であることが、市民や他地域、他国に世界共通の言語として**同様の認識**で伝わります。
- また、SDGsは今や**投資、保険、銀行分野における重要な判断基準**であり、世界中が注目しているため、SDGsを使って**業務を効果的にPR**することができます。

SDGsという**共通言語**※で自分たちの業務を発信することで、効果的に**PR**することができます



※ 「特集 SDGs（持続可能な開発目標）と科学技術イノベーションの推進」（文部科学省 2019.9）

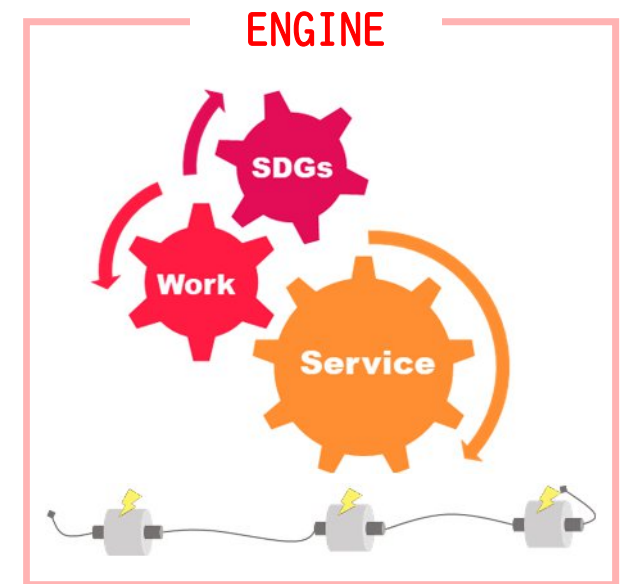


# I 「SDGs」の本質と使い方③「エンジン」

## (3) SDGsは「エンジン」である

- SDGsは国内外において高い関心と理解が進んでいるため、  
(経費・人的リソース検討は別途必要ですが、) 事業実施にあたり、**SDGsを意識した取組であれば正当性が説明しやすく、庁内外の合意形成も図りやすくなります。**
- また、行政施策には「脱炭素」「地域包括ケア」「パラムーブメント」など**全庁に渡る分野が複数ありますが、SDGsはそのすべての要素を包括的に含むため、全庁業務をSDGsで横串を指すことで、事業の統合・連携が図られやすくなります。**
- このように、**SDGsは地方創生の原動力（エンジン）**として、事業の一層の充実・深化につなげることができます\*。

SDGsは**事業の合意形成**や、**事業の統合・連携**を進めやすくする**エンジン**として機能します



\* 「第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略（2020改訂版）」（内閣府 2020.7）



## 2 「SDGs」をカスタマイズ

### (1) SDGsは「カスタマイズ」できる

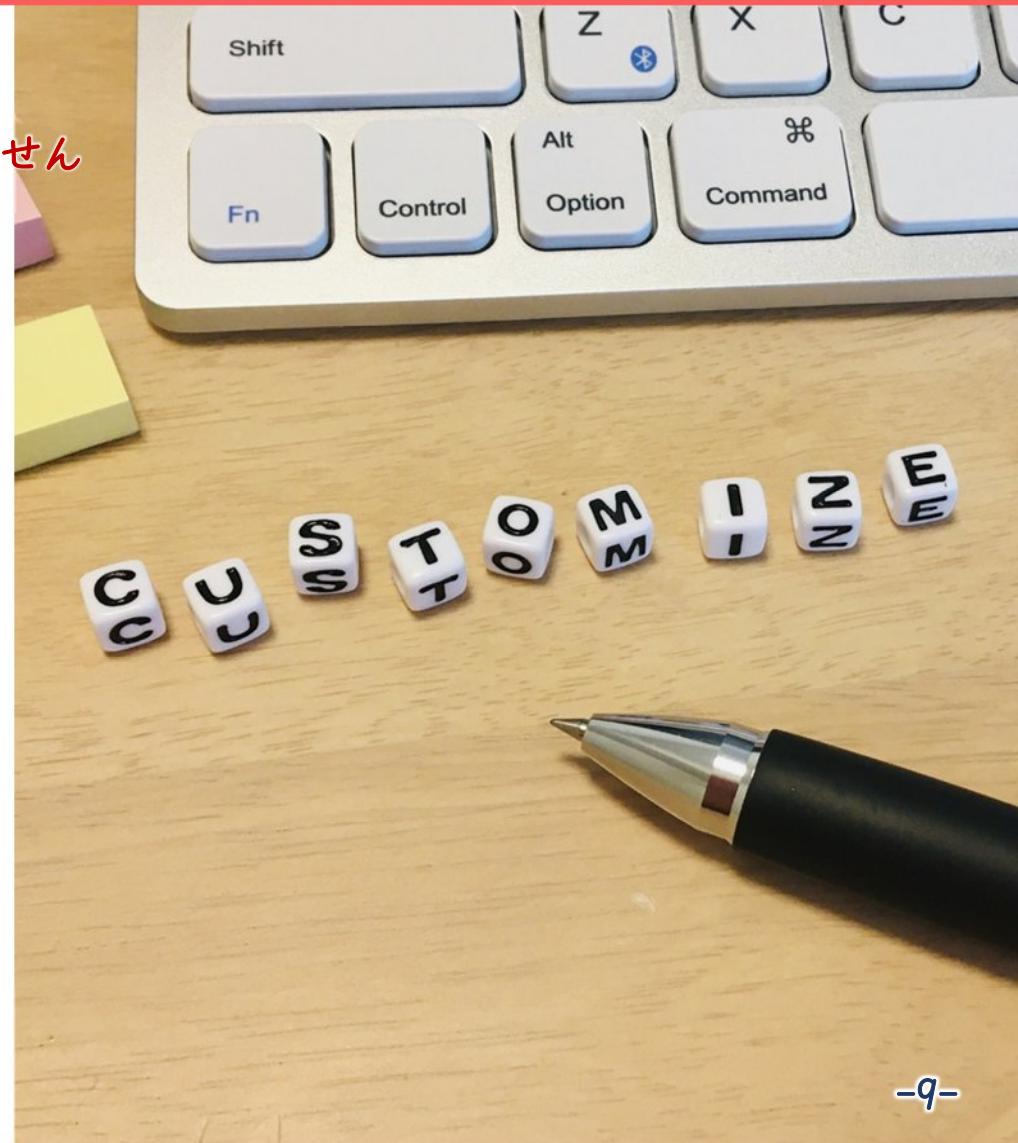
#### ○ SDGsは単なる「ロゴマーク・アイコン」ではありません

- ・SDGsを活用することで、業務量を増やさずに仕事の質をレベルアップさせることができます。
- ・そして、世界の共通言語であるSDGsを、地域レベルの課題解決に適用するためには「ローカライズ」と呼ばれる翻訳作業が必要であるとされています\*。

(本市は、SDGs推進方針を総合計画に統合し「かわさきSDGs」として取り組んでいます)




SDGsはローカライズが必要です。  
次章(第2章)以降では、  
SDGsをカスタマイズし、庁内事務事業を  
「プロモーション」「改善・連携」  
する方法や事例等を説明します

\* 「SDGsの実践 自治体・地域活性化編」(村上周三 2019.4)



### 3 本『進め方』の狙い

#### 本『進め方』の狙い

	段階	状態	川崎市の状況
<p>少し前 (2020年頃)</p>	<p>第1段階</p> 	<p>SDGsの存在を <u>認知・理解</u>する</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ほとんどの職員はSDGsの存在を認知し、SDGsの定義や17ゴールのロゴマーク等をなんとなく把握。</li> </ul> <p>ロゴマークくらいなら知ってるよ</p>
<p>多くの職員の <u>現状</u></p>	<p>第2段階</p> 	<p>SDGsを業務に <u>位置づける</u></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>総合計画（3期）に全事務事業をSDGs取組と位置づけ。</li> <li>全職員がSDGs取組を実施。</li> </ul> <p>自分の業務はSDGs取組なんだね</p>
<p>本『進め方』の <u>狙い</u></p>	<p>第3段階</p> 	<p>SDGsの<u>本質</u>を理解しツールとして活用する</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>SDGsの本質の理解し、積極的に活用している部署・職員はそれほど多くない状況。</li> </ul> <p><u>第2章へ</u></p>

## 第2章 庁内事務事業をSDGs視点で『プロモーション』

### (1) 「SDGs×シティプロモーション」

- 前述のとおり、SDGsは共通言語であり、またサステナビリティを重視する考えが**世界中で認識・注目**されています※。
- 事業推進にあたり**SDGsを意識**することで、持続可能な社会におけた事業であることがPRでき、**国内外のSDGs関心層の目に映り、市内外の様々な主体の注目・関心**を集めやすくなります。

### (2) 「チラシにロゴマークを貼るだけ」ではない

- SDGsを使ったプロモーションというと、多くの職員が**SDGsの17ゴールのアイコンを広報チラシ等に貼り付ける**ことを思い浮かべるかもしれません。
- SDGsアイコンによる明示は有効な手段の一つではありますが、それだけでなく、例えば「**文脈中にSDGsを明示する**」「**事業計画・内容にSDGsの考え方を明示する**」など様々な工夫を行うことで、SDGsをより有効に活用することができます。

※ 「2022経済展望とサステナブルな資本主義の道筋」（経団連会長スピーチ 2021.12）



# 1 | SDGsを「シティプロモーション」として活用

## 「シティプロモーション」としての活用イメージ

○ 行政施策を情報発信するにあたりSDGsを意識して発信することで、当該取組とSDGsとの関連をより深く印象づけることができ、市内外のSDGs関心層への注目・関心を集めやすくなります。

(2023.7) 夏休み親子でチャレンジSDGs!

(2023.7) 教育だよりかわさき127号

(2023.8) 全国自治体政策研究交流会議川崎大会

(2023.11) Colorsかわさき2023展



**夏休み親子でチャレンジSDGs!**

自由研究に おすすめ

日時:2023年7月22日(土) 午後2時~4時  
場所:ヨネテッパ 寺 4階 会議室

~生ごみを資源に変えてみよう~

毎日台所から出る生ごみを基材の入ったダンボールに入れてかき混ぜるだけ! 生ごみが微生物の働きで分解され堆肥となり、花や野菜を育てられます。自由研究のテーマとして、資源循環に挑戦してみよう!

対象 市内小学生と保護者 20組(事前申込・先着)  
講師 川崎市生ごみリサイクルリーダー  
参加費 無料(ダンボールコンポストキットつき)  
※実習で生ごみを投入し、そのままに入れて下げて持ち帰れます。夏休みに親子で続けて下さい。  
持ち物 台所から出た前日または当日の生ごみ全て  
※ごみ削減のため、密封容器に入れてお持ちください。

「SDGs」ってなに?

「世界中にある環境問題・差別・貧困・人権問題といった課題を、世界のみんなで2030年までに解決していこう」という計画・目標のことです。生ごみを資源に変え、限りある資源を有効活用することができます。

主催:川崎市環境局減量推進課  
共催:ヨネテッパアドバンストナース



**特集6 SDGs x 健康給食**

SDGsに関わる食材を使用した給食を通じて、各学校でのSDGsの学びを推進します。

令和4(2023)年度、大田小学校の5年生の子どもたちが総合的な学習の時間、SDGsに関わる食材である大豆ミートを使用した単立を考えて、目標設定として大田小学校全体で実施しました。

令和5(2023)年度は、この取組をモデルとして、学校給食を通じてSDGsの学びを推進するため、全市立小中学校の学校給食でSDGsに関わる大豆(豆粉)大豆ミートのドライカレーを10月に提供します。

各学校においては、大豆ミート単立の提供に合わせた授業(学校給食とSDGsに関わる動画)を活用して、児童生徒がSDGsについて考える取組を行います。

大豆ミートってなに? 大豆の油分を絞り乾燥させて、お肉に見立てたもので、豚分や食物繊維が豊富な食材です。大豆ミートのハンバーグやミートソースなどのお惣菜を考えているお母もあるよね!



**SDGsの取組は他にもあります**

中学校給食献立コンクール 募集中!!

募集期間 8月28日まで

応募内容 川崎市立中学校在籍の生徒の保護者

応募内容 野菜を使った献立1品分の料理(1品目は200g前後の野菜の生野菜から作っていただきます)

賞状 最優秀賞 1名、優秀賞 2名

※全応募1品は検査とさせていただきます。

SDGsの取組の二つどりを牛乳がストローパックになりました!

令和5(2023)年4月から、ストロー使用の牛乳パックがご家庭でも取り扱いはじめました。

牛乳では、使い捨てプラスチックローを約2kg削減することができず。

お申し込み先: 教育委員会事務局 健康給食推進室 ☎044-200-2158



**スポーツ x SDGs かわさき**

かわさきの今を知り、日本の未来をつかむ2時間30分!!

川崎市が誇るプロスポーツチームと地域づくりを振り返ります!

スポーツx地域づくりのSDGs

川崎市(本会場)を軸にプロスポーツチームが、市とともに進めてきた地域づくりの取組について、考え方や取組事例、将来展望、地域貢献のヒントなどを交えて振り返ります。

川崎フロンターレ 管理総務企画部マネージャー 高木 透  
東武東上線川崎駅副駅長 SDGsプロジェクトリーダー 磯崎 洋一  
NECレッドクワッツ アスリートディレクター 岡田 理恵  
川崎市市民文化局市民スポーツ室担当課長 片倉 哲史

川崎市SDGs推進アドバイザー 高木 超  
慶応義塾大学大学院 経済・メディア研究科 特別教授

パネルディスカッション(第2回)

スタジアムが地域を変える!日本は、何々がどう変わる??

スポーツx地域経済のSDGs

日本のスタジアムは世界に誇れる。地産地消を推進するための多岐にわたる取組を進める。日本のスタジアムが、そして全国に向けて発信してゆくべき取組について、議論を交わります。

主催:川崎市SDGs推進アドバイザー 高木 超  
慶応義塾大学大学院 経済・メディア研究科 特別教授



色とりどりなアートがSDGsとつながる

**Colors KAWASAKI**

パラアート推進事業

**Colors かわさき 2023 展**

2023年11月10日(金) - 11月19日(日) 10:00~18:00 入場無料

ミュージアム川崎シンフォニーホール 4F 企画展示室

作品募集!

公募アート作品約100名と特別展覧会アーティストの作品約50名の総勢約150名が参加します。

11月10日(金) 11:00~14:30  
11月11日(土) 11:00~14:30  
11月12日(日) 11:00~14:30  
11月13日(月) 11:00~14:30  
11月14日(火) 11:00~14:30  
11月15日(水) 11:00~14:30  
11月16日(木) 11:00~14:30  
11月17日(金) 11:00~14:30  
11月18日(土) 11:00~14:30  
11月19日(日) 11:00~14:30

主催:川崎市SDGs推進アドバイザー 高木 超  
慶応義塾大学大学院 経済・メディア研究科 特別教授



## 2 SDGsを「インナープロモーション」として活用

### (1) 「インナープロモーション」とは

- 「**インナープロモーション**」とは、組織のブランド価値や理念について職員への理解醸成を図ることで、**職員の意思統一**や**意欲向上**を図るための**庁内向けのプロモーション活動**のことです。組織の方針と職員の思いが同じ方向に向くことで、**仕事の質と効率の向上につながります**。

### (2) 「SDGs×インナープロモーション」

- **本『進め方』はインナープロモーションの一環**であり、SDGsを通じた職員の**意思統一**や**仕事の魅力**を感じていただき、**やる気UP**につなげていくことを目指しています。
- 令和5（2023）年11月には、環境局と総務企画局の**庁内会議を合同開催**し、**脱炭素とSDGsの双方の意識付けを高める取組**を進めるなど、会議連携によるインナープロモーションの取組も行いました。

令和5（2023）年11月開催 令和5年度第2回川崎市環境行政・温暖化対策推進総合調整会議 令和5年度第3回川崎市持続可能な開発目標（SDGs）推進本部 合同会議  
第2部 専門家（高木超慶應義塾大学特任助教）によるビデオ講演「SDGsの捉え方・認識をより深めよう！」の様子



# 第3章 庁内事務事業をSDGs視点で『改善・連携』

「第18回マニフェスト大賞」プレゼン発表時の川崎市発表資料（一部抜粋）



SDGs×庁内マネジメントを全庁で進めます

2030年の川崎市を  
こうご期待ください！！

そこで考えたのが

『Kawasaki City SDGs Guidance ～川崎市庁内SDGs取組の進め方～』

(一言で言うと)  
SDGsを活用して庁内業務をプロモーション・改善・連携するための、  
庁内マネジメントに特化した独自計画



POINT  
特徴

- 1 全国自治体初の独自計画！
- 2 委託費ゼロ・完全職員自作！
- 3 製作期間4か月の最短合意形成！
- 4 策定と同時に20以上の成果！
- 5 理論・エビデンスを重視！

マニフェスト大賞とは

- ・マニフェスト大賞は、議会、首長、市民等による地域の民主主義向上に資する優れた取組を表彰する、**日本最大級の政策コンテスト**です。
- ・優れた取組が広く知られ互いに競いあう「**善政競争**」の拡大を目的としています。
- ・本市は応募数**3,088件**の中から、第18回マニフェスト大賞『**優秀賞(40件)**』及び『**プレゼンテーション特別賞(1件)**』を受賞しました。  
(主催：マニフェスト大賞実行委員会、  
共催：早稲田大学マニフェスト研究所、毎日新聞社)



# I SDGsを「事業改善・連携」として活用

## 「SDGs」で自分の仕事を振り返る

- 所管業務について、SDGsのゴール・ターゲットに照らして振り返ることで、**新たな気付き**につながる可能性があり、**日常的に意識**することが有効です。

### ↓ ありがちな例



うちの部署はゴール3（健康と福祉）を頑張ってます。他のゴールは他の部署でやってるから問題ないですよね？

事業を進めれば廃棄物やCO<sub>2</sub>が発生しますし、雇用も関係します。

事業を進めるなかで、**ゴール3以外にも様々なゴールが密接に絡んでいることを意識する必要があります。**



### 👍 良い例



うちの部署はゴール3（健康と福祉）を主に進める部署ですが、**関係部署と連携**して、事業ごみを焼却処分から**再資源化处理**へと切り替えました。

さらに**障害者雇用**も積極的に進めています。

**複数のSDGsゴールを意識している点や、SDGsを使って関係部署との事業連携につなげている点**がすごく良いですね！



## 2 SDGsを意識した「事業改善・連携」の事例

本編抜粋



### (3) 事例③ (環境局×港湾局×総務企画局の連携)

- 環境局では、総務企画局が進める「かわさきSDGs分科会」の取組と、環境局の「産学公民連携共同研究事業」との連携による事業を進め、令和5(2023)年10月に港湾局が開催した市民向けイベント「川崎みなと祭り」において研究成果を発表し、参加者の行動変容を促しました。

分科会代表  
(スライパレ)

SDGs分科会として  
川崎臨海部での  
海洋ごみ調査をしたい！



環境局の  
産学公民連携共同  
研究事業として  
実施できるかも！

総企局・環境局

産学公民連携共同  
研究事業として採択！  
市民向けイベントで  
成果を発表しましょう！

環境局・港湾局



開催日時  
**10月7日(土)・10月8日(日)**  
10:00~16:00  
雨天中止

プログラム

①漂着物探検隊	各回10名
②特別講義付タッチプール	各回10名
③マイブラで万華鏡を作ろう	各回6名
④アサリの教室	各回6名

その他、随時受付している輪投げコーナーやクイズコーナーもあります  
※応募者多数の場合、抽選  
※当日の天候等により内容の一部を変更する場合があります

申込方法 市HPからの申込 詳細はHPへ

応募締切 10月1日(日)  
※10月3日以降、抽選結果と案内をお知らせします。

参加費 無料

【お問い合わせ】  
川崎市環境局環境総合研究所  
〒210-0821川崎市川崎区殿町3-25-13  
TEL: 044-276-9096

川崎市 COLORFUL FUTURE ACTIONS  
2024年10月開催のかわさきSDGs市民向けイベント

## 第4章 市内SDGsの『先進事例や身近な事例』

本編ではさらに多くの事例を掲載

かわさきプラスチック循環プロジェクト  
(2023年SDGsトレインポスター(※職員デザイン))

川崎市は  
すべての製品プラ100%リサイクルを  
目指します







# I 庁内SDGsの「先進事例や身近な事例」

## 「かわさきSDGs」はすべての職員が主役

- 本市はすべての事務事業をSDGsゴールに関連づけており、**すべての職員がSDGs取組の主役**であると考えられます。
- 本章では、**ほかの局区の職員への参考となる先進事例・身近な事例**を中心に紹介します。  
(本市は、各局区においてSDGs観点で重要性の高い取組を進めていますが、本章はそういった視点ではなく、事業の「プロモーション」や「連携・改善」の参考となる事例を中心に紹介します)



SDGsの有用性は理解しましたが、忙しくてそこまで頭を回す余裕がありません！



最初は大変ですが、SDGsを日々意識することで、思考が徐々にレベルアップし仕事量を増やさずに仕事のクオリティを上げられます！

# I 市内SDGsの「先進事例や身近な事例」

## 事例（新城小学校）



- **新城小学校**では、持続可能な新城のまちや社会の創り手を育てる教育を目指し、**SDGs教育全体構想**を掲げ、すべての教育活動で実践を積み重ねています。
- 普段の生活で子どもたちが取り組んでいる「マイSDGsチャレンジ」を募集し、「**取組が多いSDGsゴールと少ないゴール**」を**視覚化・分析**しました。
- 気候変動・環境・エネルギー問題などの取組が多いゴールに対し、**人権・平等・平和・福祉分野**などの「**取組が少ないゴール**」に**着目**し、明治大学との協働連携による取組として「**センサリーマップづくり**※」を進めました。  
（※センサリーマップとは、感覚に過敏な人も生活しやすいように光や音などの感覚情報を表したマップのこと）
- こうした取組や着眼点が評価され、新城小学校は**かわさきSDGs大賞2023「優秀賞」**を受賞しました。



「取組が少ないゴール」に着目・分析し、センサリーマップという具体的な取組に繋がっているところが素晴らしいね





# I 市内SDGsの「先進事例や身近な事例」

本編抜粋

## 事例（宮前区役所）



- 宮前区役所では、令和5（2023）年11月に開催した市民イベント「落ち葉であそぼう 学ぼう！」を開催し、公園にある落ち葉をみんなで拾い、最後に集めた落ち葉を堆肥にする取組を行いました。
- このイベントは、宮前区の地域デザイン会議で議論した内容を踏まえて実施したもので、イベント実施後には、落ち葉の堆肥化に取り組んでいることを子どもたちにも理解してもらうため、設置した看板にSDGsの文言を入れました。
- 看板づくりに協力してくれた市民からは「子どもたちは学校でSDGsのことを学んでいるため、看板を見てこの取組に興味をもってもらいやすくなる」といった発言をされていました。



落ち葉プールの様子



集めた落ち葉を堆肥にする様子



イベント実施後に設置した看板

「SDGsの文言を入れることで子どもたちに興味をもってもらう」という市民の発想が素晴らしいね

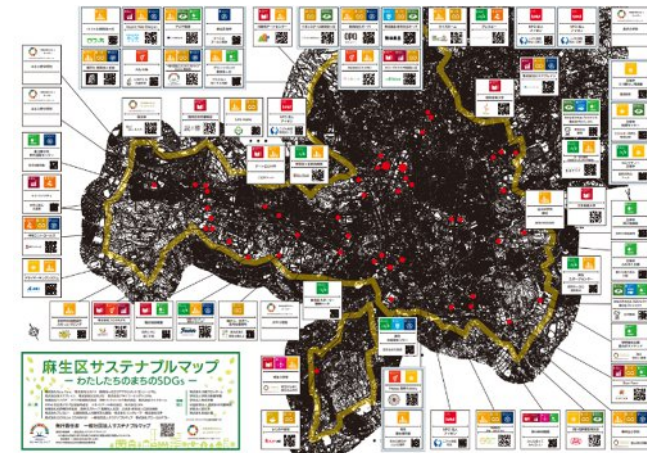


# I 市内SDGsの「先進事例や身近な事例」

## 事例（麻生区役所）



- 麻生区役所では、区内在住の小中学生23人とともに設立した「麻生区SDGs推進隊」と連携し、区内各所の情報をSDGsゴールと結び付けた地図「麻生区サステナブルマップ」の作成や、子どもたちによる具体的なSDGsアクションを進めています。
- 令和6（2024）年2月には「SDGsマルシェinあさお」を開催し、麻生区SDGs推進隊の活動報告や医療のエコ活動をテーマとした音楽絵本、世界との繋がりをテーマとした講演などを行いました。
- また、市政だより麻生区版において、令和5（2023）年8月号より「〇〇〇×SDGs」と題して各種取組を毎号お伝えしています。



子どもたちのSDGs活動を大人が支援する仕組みをつくっていて、さらにそれを具体的なアクションにも繋げている事例だね





～ 推進体制・進行管理・今後の方向性 ～

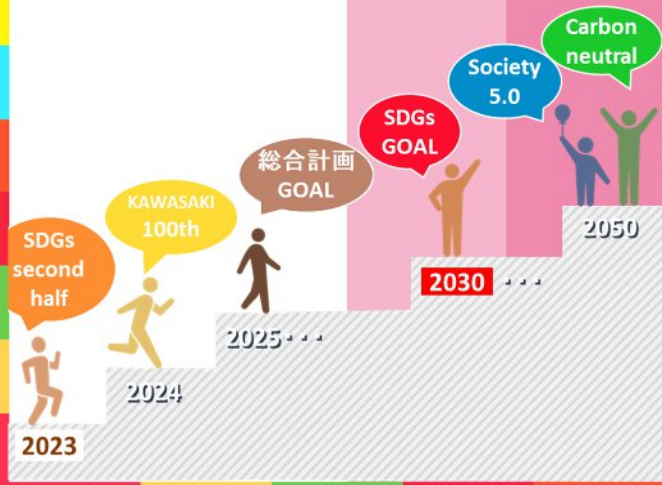
本編抜粋

# 第5章 かわさきSDGsのゴールに向けて

かわさきTEKTEK  
(2023年SDGsトレインポスター (※職員デザイン))

このほか、本編には「附属資料」として川崎市SDGsプラットフォームの取組なども掲載しています

## 歩いて 貯めて ミライ 子どもを応援。 かわさき てく てく TEKTEK



KAWASAKI SDGs

3 すべての人に健康と福祉を

4 質の高い教育をみんなに

17 パートナシップで目標を達成しよう

操作はアプリで簡単！  
詳細はこちら→ [かわさきTEKTEK](#)



川崎市  
KAWASAKI CITY

# I 推進体制・進行管理等

## (1) かわさきSDGsの推進体制

- 総合計画（第3期実施計画）に記載のとおり、全庁的なSDGsの推進にあたっては、令和元（2019）年6月に設置した「**川崎市持続可能な開発目標(SDGs)推進本部**（※市長を本部長とし、全局（室）区長で構成）」を中心に、各局室区における取組の協力と、関係部署相互の連携を推進します。
- また、国の取組との連動や「かわさきSDGsパートナー」「川崎市SDGsプラットフォーム」を基盤とした多様な主体との連携強化、職員や市民、企業団体等への理解の浸透を図り、効果的にSDGsを推進します。

## (2) かわさきSDGsの進行管理

- 総合計画（第3期実施計画）に記載のとおり、本市のSDGs推進の取組については、総合計画に基づく施策・事務事業を通じて行うため、**進行管理においては、総合計画における進行管理と一体的に行います。**

## (3) 本『進め方』のアップデート

- SDGsは2023年から後半フェーズとなっており、2030年の取組年限に向け、SDGsを取り巻く環境は日々変化し、年々進化・加速しています。
- こうした状況を踏まえ、職員がSDGsに関する最新動向を把握し行政施策に生かしていけるよう、**本『進め方』は年1回程度を目安にアップデートを行います。**

SDGs GOAL







1960年代の川崎臨海部



現在の川崎臨海部



SDGs未来都市授賞式



KAWASAKI  
SDGs

川崎市は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

かわさきSDGsは、川崎市の未来のための取組です。

SDGsの後半フェーズでは、すべての職員が当たり前  
SDGsのことを意識して業務に取り組んでいるような状態を目指し、  
全力で取り組んでいきます。



※本『進め方』は「ユニバーサルデザインフォント」及び「カラーユニバーサルデザイン」に配慮しています



第1回かわさきSDGsパートナー